

町に37尾の 錦鯉を寄付



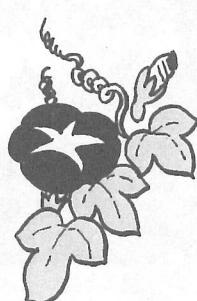
錦鯉を寄付してくださった中川さん夫妻

光町上原にお住まいの中川秀夫・春代さんご夫妻から、6月2日、「坂田池へ放してください」と錦鯉37尾の寄付がありました。

中川さんは、15年前から自宅の池で錦鯉を飼い始め、これまで大切に育てていきましたが、ふれあい坂田池公園の豊かな自然に魅せられ、何度も足を運ぶうち、「この広い池を自由に泳げる鯉はどんなに幸せだろう」と思ったそうです。

体長50センチ程に成長した鯉は、移動するため用意された水槽へ移されました。ご夫妻の目には光るもの——。

鯉の寿命は100年以上とも言われ、条件が良ければ体長1メートルを超す場合もあるそうです。時々、坂田池で釣りをしている方を見かけますが、鯉の成長を優しく見守ってあげてください。



茅拂しする適期は今と気になれど
病み臥す吾は術なくゐたり
生きに二年過ぐ
齊藤つね子



東町地区の小学生ソフトボールチーム東町ベアーズが、5月15日に行われた全日本小学生ソフトボール大会の郡大会で見事優勝し、山武地区的代表チームとして6月5日、八千代市市営運動場を会場に行われた県大会に出場しました。

成績は、2回戦で寒風台小チーム(松戸市)に惜敗しましたが、大会初出場で県大会出場を果たした子どもたちにとっては、大きな自信になったことでしょう。

全国制覇を目指してこれからも頑張ってください。

■東町ベアーズ■

郡大会で優勝、県大会へ出場

全日本小学生ソフトボール大会

6月11日、親子チャレンジセミナー(公民館主催)が町文化会館で開かれ、参加した親子80人が「手打ちうどん」づくりに挑戦しました。

会場に集まつた子どもたちのほとんどが初めての体験らしく、会場で開かれ、参加した親子80人が「手打ちうどん」づくりに挑戦しました。

そして約2時間、親子で・家族で挑戦した手打ちうどんができあがり試食会。「コシがあつて本当においしい、家に帰ったらまた作ろう」と、みなさん満足声がいっぱいでした。

仕上げ。うどんに近づくにつれて子どもたちの目は輝きを増し、会場には楽しそうな親子の歓声がいっぱいでした。

そして約2時間、親子で・家族で挑戦した手打ちうどんができあがり試食会。「コシがあつて本当においしい、家に帰ったらまた作ろう」と、みな満足声がいっぱいでした。

吉岡 信子

自分で作った うどんに満足! ◆親子チャレンジセミナー◆



初めてのうどん作りに力が入ります

見えた透いた感めごとは言へざりき下半身を麻痺せし友に吉岡 信子

掛川 友代

職やめて三年過ぎたり近くまで来たれど訪はず帰り来にけり 齋藤 要

佐瀬 初音

研ぎ上げし鎌の切れ味小氣味よく
嘔へきし土塊を捨て蟻はすぐ出で
まつ作ろう』と、みな満足
した様子でした。

齊藤 秀男

割烹着にリフオームをせし夫のシ
ヤツ身につけふも一日働く
池田 春江

齊藤 秀男

渋落しの休日なればゆつくりと新
聞歌壇を読み通したり
田の面をみなくれなるに染む夕日
光地底に届きてあらむ 鈴木 やす

宇井 ちい

折々に咲く花あるを恵みとし夫な
き年に二年過ぐ

吉岡 信子

茅拂しする適期は今と気になれど
病み臥す吾は術なくゐたり
生きに二年過ぐ

齊藤 つね子